



すみ
シキの型板を当てて墨入れをする
平成8年撮影



タナドオりのスリ合わせ 平成8年撮影



ベカブネで海苔洗い 昭和37年2月



すみつば
墨壺



ノミ

大田区の大森・梶谷では江戸時代中期から、羽田は明治時代から海苔養殖が行われていました。作業にはベカブネ(またはテンマ)と呼ばれる小舟を使用し、漁場の拡大と共に大型の海苔船が利用されるようになりました。これらの船を建造したのは船大工であり、昭和30年代に大森には7軒、梶谷には1軒、羽田には9軒の船大工(造船所)がありました。

海苔養殖に欠かせないベカブネは木造で、船底となるシキ(敷)^{ふな べり}と、船縁を構成するカジキとタナを組み立てて作られます。船の建造には、用材の木を切るための鋸類、木を削る鉋類、舟釘やそれを打つ穴を開けるためのツバノミ^{のこぎり}など、用途によってさまざまな大きさや形の道具を使いました。特に、海水が漏れ^もず軽く丈夫な造りに仕上げるためには、これらの道具を使い分ける熟練の技と工夫が求められました。船底のシキを作るだけでも20以上の工程があり、その技術の高さがうかがえます。

本展では、大田区立郷土博物館の特別展「大田区の船大工」(平成8年度)に展示するため、大森の平野造船がベカブネを建造した際に記録した写真と、平野造船が実際に使用した道具類を中心に展示します。展示を通して、大田区の海苔養殖を支えていた船大工の造船技術をご覧ください。



お も り の り

大森 海苔のふるさと館

〒143-0005 東京都大田区平和の森公園2番2号
電話 03-5471-0333 FAX 03-5471-0347
<https://www.norimuseum.com/>



利用案内

開館時間 9:00~17:00 (6~8月は19:00まで)
休館日 第3月曜日(祝日の場合は翌日)、
年末年始(12月29日~1月3日)

交通案内

京急 平和島駅から徒歩15分
東京モノレール 流通センター駅から徒歩15分
JR 大森駅から平和島循環バスで
「平和島五丁目」下車、徒歩3分
駐車場 大森ふるさとの浜辺公園駐車場 30分100円

